様式第１号記入例

記入日(ただし対象年齢の誕生日以降の日付で記入)

令和　５　年　７月　３日

津山市多子世帯応援給付金支給　申請書兼請求書

津山市長　殿

申請者　住　　所　津山市山北５２０

氏　　名　津山　太郎　　津山 印（スタンプ印不可）

印鑑

児童の父または母(ただし同居している者に限る)

生年月日　S・H　３　年　○　月　○　日

電話番号　~~０９０~~ 080　－　××××　－　××××

津山市多子世帯応援事業実施要綱の規定により、津山市多子世帯応援給付金（以下「応援金」という。）を次のとおり請求します。

【記入の注意点】
・訂正する場合は誤った箇所を２重線で削除し、修正テープは使用しないでください。
・「４　応援金受取口座」以外の箇所の修正に、訂正印は不要です。
・「４　応援金受取口座」の訂正は、申請者の押印欄に押したものと同じ印鑑を使用してください。

記

１　応援金申請額　　￥１００，０００円（訂正不可）

該当区分をチェック

２　対象児（該当する区分と年齢のチェック欄（□）にチェック（☑）を入れてください）

(フリガナ)	ツヤマ　サブロウ	住民票世帯	同一世帯
児童氏名	津山　三郎	区　　分	□第２子対象児 ☑第３子以降対象児
生年月日	令和　３　年　７月　１日	該当年齢	□満１歳　☑満２歳　□満３歳

※施設入所等、対象の児童を監護していない場合や別世帯となっている場合は対象となりません

３　配偶者及び養育児童の状況（２に記入した対象児は省略可）

養育児童等の続柄	氏名	生年月日	世帯
配偶者（夫または妻）	津山　桜	S・H　４年　○月　○日	同一・別
児童（第１子）	津山　一郎	H・R　３０年　○月　○日	同一・別
児童（第２子）	津山　次郎	H・R　２年　○月　○日	同一・別
児童（第３子）		H・R　年　月　日	同一・別
児童（第４子）	津山　花子	H・R　５年　○月　○日	同一・別
児童（第５子）		H・R　年　月　日	同一・別

離婚・死別等の場合は空欄

２記載の対象児のみ省略可

※施設入所等、監護していない児童は養育児童に含みません
※欄が不足する場合は、別紙を添付してください

（※裏面に続きます）

裏面

表面の申請者名義の口座を記入

訂正印は表と同じ印鑑を使用

4　**応援金受取口座**（指定口座名義は申請者のものに限る）

金融機関名	支店名	種別	口座番号
ゆうちょ　銀行　金庫　農協	五　誓四八　津山　本店　支店　出張所	普通	× × × × × × ×
口座名義（カタカナで記入）			
ツヤマ　タロウ			

口座番号７ケタを記入（右詰め）
※ゆうちょ銀行口座で８ケタ目がある通帳は
　８ケタ目の１を除いて記入

5　**添付書類**

表面の申請者欄に記入した父または母の本人確認書類を添付してください

⑴ 申請者の本人確認書類の写し

⑵ 受取口座の確認できる通帳等の写し

⑶ その他（　　）

6　**誓約・同意事項**

第何子に当たるかの確認の際に、同一世帯に住所登録がない子については、戸籍謄本の提出が必要となる場合があります。詳しくは事前にご相談ください。

・「２　対象児」及び「　　ついて、現に申請者本人が監護・養育しており、

・「２　対象児」欄に記載の児童について、現に申請者と同居しています。

・申請者および対象児は該当の年齢に達した日の属する年の１月１日から現在までの期間、津山市に住民票があります。

・応援金の支給要件の該当性等を審査等するため、住民基本台帳情報等の必要な公簿等の確認を行うことや必要な資料の提供を他の行政機関等に求めることに同意します。

・公簿等で確認できない場合は、関係書類の提出を行います。

・この申請書は、支給決定をした後は、応援金の請求書として取り扱います。

・応援金の支給後、本申請書の記載事項について虚偽であることが判明した場合や応援金の支給要件に該当しないことが判明した場合には、応援金を返還します。